

**製品名: Bcl10 (9M3) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe07497**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, FC 1:200-1:1000
分子量	26kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BCL10
別名	BCL10; CARMEN; CIPER; CLAP; c-E10; mE10;
遺伝子 ID	8915.0
SwissProt ID	O95999
免疫原	ヒト Bcl10 の合成ペプチド

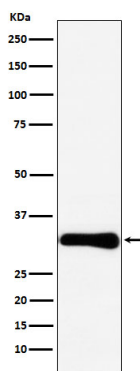
**背景**

NIK および IKK を介して、アポトーシス、プロカスペアーゼ 9 の成熟、および NF- $\kappa$ B の活性化を促進する。上流の TNFR1-TRADD-RIP 複合体と下流の NIK-IKK-IKAP 複合体との間のアダプタータンパク質である可能性がある。MALT1 の基質である。CARD ドメイン含有タンパク質を免疫活性化に橋渡しすることで、獲得免疫および自然免疫シグナル伝達の両方において重要な役割を果たす (PubMed:10187770、PubMed:10364242、PubMed:10400625、PubMed:25365219、PubMed:24074955)。CARD ドメイン含有タンパク質 CARD9、CARD11、および CARD14 の下流にある適応免疫および自然免疫シグナル伝達を誘導することで、NF- $\kappa$ B および MAP キナーゼ p38 (MAPK11、MAPK12、MAPK13、および/または MAPK14) 経路を活性化し、炎症誘発性サイトカインおよびケモカインをコードする遺伝子の発現を刺激します (PubMed:24074955)。活性化 CARD ドメイン含有タンパク質によるリクルート: ホモオリゴマー化した CARD ドメイン含有タンパク質は、CARD-CARD 相互作用を介して BCL10 をリクルートする核形成ヘリカルテンプレートを形成し、BCL10 の重合、続いて MALT1 のリクルート、そして CBM 複合体の形成を促進します (PubMed:24074955)。これにより、NF- $\kappa$ B および MAP キナーゼ p38 (MAPK11、MAPK12、MAPK13、および/または MAPK14) 経路が活性化され、炎症誘発性サイトカインおよびケモカインをコードする遺伝子の発現が刺激されます (PubMed:18287044、PubMed:27777308、PubMed:24074955)。C 型レクチン受容体の下流にある CARD9 によって活性化され、CARD9 を介したシグナルは抗真菌免疫に不可欠です (PubMed:26488816)。T 細胞受容体 (TCR) および B 細胞受容体 (BCR) の下流にある CARD11 によって活性化されます (PubMed:18264101、PubMed:18287044、PubMed:27777308、PubMed:24074955)。NIK および IKK を介してアポトーシス、プロカスペアーゼ 9 の成熟および NF- $\kappa$ B の活性化を促進します (PubMed:10187815)。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物中の Bcl10 発現のウェスタン ブロット分析。